

■（公社）日本地すべり学会関東支部 2025 年度現地検討会 開催報告 「群馬県 奥万座地区地すべり対策」

（公社）日本地すべり学会関東支部

1. 実施概要

本年度は、林野庁関東森林管理局吾妻森林管理署のご協力を得て「群馬県奥万座地区の地すべり災害対策」を対象とした現地検討会を実施致しましたのでご報告いたします。

奥万座地区では平成 13 年 9 月 11 日の台風 15 号の接近に伴った豪雨により地すべりが発生しました。当該地区は草津白根火山の火口が近接しており、強酸性の水質や硫化水素ガスなどが影響する火山地域特有の性質を持っています。今回の現地検討会は、火山地域における地すべり対策の理解を深めることを目的に開催いたしました。

- (1) 開催日：2025 年 11 月 6 日（木）
- (2) 場所：群馬県吾妻郡嬬恋村 干俣
- (3) 主催：（公社）日本地すべり学会 関東支部
- (4) 協力：林野庁関東森林管理局吾妻森林管理署
- (5) 参加人数：17 名

2. 検討会の内容

はじめに天明 3 年（1783 年）に発生した浅間山噴火に伴う土石なだれの被害を今に伝える鎌原観音堂と嬬恋郷土資料館を見学しました。嬬恋郷土資料館では館長の関氏の案内により、土石なだれの災害の概要の説明と発掘された出土品などの展示物を見学しました。また、浅間山北麓ジオパークの古川氏の案内により土石なだれの最大の被災地である鎌原集落で唯一残った建物の鎌原観音堂を見学し、当時の被害とその後の復興について説明をいただきました。

奥万座地すべりでは、万座・熊池地すべり対策工検討委員会において、対策工の検討を担当された国土防災技術株式会社様の案内により、熊池ブロックの地すべり対策の現場を見学させていただきました。

熊池ブロックでは鋼管杭工のほか、アンカー工、横孔ボーリング排水工等の施工状況を見学しました。特徴的なこととして、火山ガスの発生のため地下水排除工として集水井が施工できず、その代替としてコア径を変えながら大延長の掘削をした多段式の横孔ボーリング排水工が施工されていました。その他、アンカー工では受圧板などに耐食性の材料が用いられているほか、表層の排水溝に樹脂性のコルゲート管を用いるなど、強酸性水による腐食対策がいたるところに実施されていました。

今回の現地検討会では、浅間山の噴火による歴史的な災害の遺跡の見学だけでなく、火山地域における地すべり対策の留意点や工夫を現場にて見学することができ、大変貴重な経験ができました。

3. おわりに

関東支部では、今後も現場に密着した講習会や現地検討会に加え、学生・若手技術者の育成をテーマとした活動を実施していく予定です。

最後に、現地検討会の開催にあたり、ご協力を頂いた林野庁関東森林管理局吾妻森林管理署、嬬恋郷土資料館、浅間山北麓ジオパーク、国土防災技術株式会社の皆様には大変お世話になりました。ここに記して、厚く御礼申し上げます。



写真-1 関氏案内による嬬恋郷土資料館見学状況



写真-2 古川氏案内による鎌原観音堂見学状況



写真-3 参加者集合写真（奥万座地すべり地区にて）
（関東支部幹事会 松田昌之）